

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和2年1月31日

事業所名 スマイルキッズステーション きらきら

保護者等数(児童数) 27 回収数 21 割合 78 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	1			見学をさせて頂いたとき、走り回っていたのでスペースがあると認識があります。	整理整頓を心がけ、お子様が安全に楽しく遊べるような環境づくりを行ってまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	3		3	ご意見なし	保育士、作業療法士それぞれの専門性を活かしお子様の支援を継続して行っています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	3		1	いつもすっきりシンプルでとてもきれいです。小さな子どもが座る椅子は床に足がつくといいなと思いました。	お子様が片付けしやすい環境、作業しやすい環境を整えていきます。新しい机や椅子を導入し、お子様に適したものを使用していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	1		1	ご意見なし	継続して清潔な空間づくりを心がけます。また活動に応じ部屋の使い方も工夫していきます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	20	1			OTの先生方もいるので安心です。 いつも関わり方についてアドバイスを頂いてとても助かります。	職員全員での情報共有を図り、それぞれのお子様に応じた適切な支援を行ってまいります。また保育士、作業療法士でお子様の評価を行ってまいります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18	3			ご意見なし	お子様、保護者、その他関連機関と情報交換、共有を行い適切な支援目標の設定、具体的な支援内容の設定を行ってまいります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	1			ご意見なし	支援計画に沿った支援内容(活動)の提供を引き続き行っています。
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	17	2		2	ご意見なし	運動遊び、感覚遊び、ルール遊びなどそれぞれの課題に応じた活動や季節トに応じた活動を考え提供していきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12	2		7	ご意見なし	引き続き必要に応じ、通われている園での様子を見学させていただき、支援に生かしていきます。
保護者 への説明 等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	1			ご意見なし	契約時に丁寧な説明を心がけています。またご不明な点がございましたらいつでも説明致します。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	19	2			ご意見なし	引き続きお子様や保護者にとって分かりやすい支援計画作成を心がけていきます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	8	4	2	7	子どもの障害の特性の理解がまだできていない。	主に連絡帳を通じやりとりを行わせてもらっています。また必要に応じ個別の相談時間を設けさせて頂いています。事業所になかなか来所できない方には電話連絡での相談も受け付けています。心配事がある際にはお気軽にご連絡下さい。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	18	2	1		毎日の活動の様子を伝えて頂き、子どもの課題や成長を共有できていると思います。	毎回の活動の様子を連絡帳を通じて、もしくは直接保護者の方へお伝えています。合わせてお子様の成長や変化点などもその都度お伝えしています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	1	2		ご意見なし	必要に応じ個別の相談時間を設けたり、お電話にてお話を伺っています。また連絡帳を通してご自宅や園での様子、事業所での様子などの

							情報交換・共有を行わせてもらっています。心配事がある際にはお気軽にご連絡下さい。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	5	2	5	父母の会、保護者開が開催されていることを知らなかった。	前年度は交流会を実施しました。今年度は年度末に保護者面談会を実施予定です。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16	2	1	2	ご意見なし	必要に応じ日程調整を行い、相談事などお話を伺っています。また事業所に足を運ぶことが難しい方にはお電話での相談も受け付けています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1	1	2	ご意見なし	情報交換・共有のツールとして連絡帳を使用しています。その他送迎時などにもお話しをお伺いしています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16	3		2	ご意見なし	毎月きらきらだよりを発行し、お子様の様子を写真付きでお渡ししています。引き続ききらきらだよりの発行を行っていきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	20			1	ご意見なし	引き続き個人情報の保護に努めていきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	12	1		8	大雨の時に電話連絡を取り合って確認しましたので安心していきます。	マニュアルに関しては、職員で共有しています。保護者の皆様へは契約時に説明を行わせてもらっています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	3		9	ご意見なし	職員勉強会でのマニュアルの確認、定期的な設備点検を行っています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	17	3		1	これから楽しく通えるようになるのが待ち遠しいです。 前日から洋服何にしようかなとか先生は誰が車ってくるのかなと楽しみにしているようです。	引き続きお子様に楽しく通ってもらえるような環境作り、活動提供を行っていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	17	4			様々な遊びや小集団でのOTなどがあり、優しい先生方でとてもありがたいです。 本人が楽しそうに出来事を話してくれます。	引き続きお子様だけでなく保護者の方にも満足していただけるような支援を行っていきます。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和2年 1 月 31 日

事業所名 スマイルキッズステーション きらきら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	整理整頓を心がけている。活動の部屋には必要な物以外置かないようにしている。	引き続き整理整頓を心がけていく。
	2	職員の配置数は適切である	○		お子様の特性に応じたスタッフの配置を行っている。	引き続きお子様の特性に応じスタッフの配置を行っていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		お子様も片付けやすいような環境作り(視覚化、収納しやすい場所)を行っている。	引き続き片付けが分かりやすい環境作りを行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		掃除、消毒を行い清潔に保っている。	毎日の掃除・玩具の消毒を継続して行っていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		お子様の課題や活動時の様子など職員間で情報共有を行っている。	引き続き職員間での情報共有、連携に努める。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートを実施し保護者等の意向聞き取り、職員会議で情報共有を行い今後の業務について話し合いを行い業務改善に繋げている。またアンケートだけでなく日々の業務の振り返りを行い、業務改善に繋げている。	引き続き年1回の保護者アンケートを実施する。また通常業務の中でも保護者とのやりとりを丁寧に行っていく。年1回の面談日を設ける。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		評価公表をホームページにて行っている。	引き続きホームページで公表していく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		月1回の職員会議を行い業務の振り返り見直しを行い業務改善に繋げている。	引き続き毎日の業務を丁寧に行い、月1回の職員会議にて業務改善を図っていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		希望者の外部研修を推進している。また職員会議にて研修内容の情報共有を行っている。	引き続き積極的な研修参加を促し、職員で共有を行っていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者や関係者からの聞き取りを基に個別支援計画を作成し、作業療法士の評価を基に特別支援計画を作成している。	引き続き適切な評価を行い職員間で情報共有を図っていく。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		作業療法士による評価を行っている(標準化されたもの、観察による質的評価)。	引き続き適切な評価を行っていく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		お子様の様子や保護者、関係機関の情報をまとめ支援計画を作成している。また誰にでも分かりやすい支援計画内容を心がけている。	引き続き適切な評価、情報収集を基に支援計画を作成していく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		職員間で情報共有を行い支援を行っている。また日々の振り返りを行い記録に残し、支援に生かしている。	引き続き職員間での情報共有、毎日の活動の振り返りを行っていく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		保育士、作業療法士で集団活動プログラムの立案を行っている。また個別の課題も視野に入れながら支援内容を考えている。	引き続き各専門職の専門性を活かし活動内容を考えていく。

	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	それぞれの課題に応じた活動だけでなく季節感を感じられる活動も取り入れている。	引き続きお子様に楽しんでもらいながら参加できる活動を考えていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○	集団活動と個別活動を並行し展開している。また集団活動の中でも支援が必要な児童には個別のサポートを行っている。	お子様の状態を適切に評価し、その児に合った環境での支援を選択、展開していく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	朝礼にてその日の活動内容やスタッフの配置など確認している。また活動後の振り返りを基に次の支援に生かしている。	引き続きそれぞれのスタッフが各自の役割に責任を持ち支援を行っていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	活動後の振り返り、記録を行っている。また次の活動に生かすための話し合いをその都度行っている。	引き続き活動後の振り返り、記録を行っていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	個人の記録と全体の様子の記録を行っている。振り返りを行いやすいように記録用紙の改訂を行った。	引き続き日々の支援を的確に記録に残していく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	個別支援計画、特別支援計画ともに定期的に再評価を行い新しい支援計画を作成している。	引き続き支援計画の振り返りを行いお子様の成長に応じた支援計画作成を行っていく。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	主に児童発達支援管理責任者が参加し必要に応じ作業療法士も同席している。	児童発達管理責任者や作業療法士だけでなくその他のスタッフでもお子様の状況を把握し会議に参加できるよう努める。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	行政機関や相談機関、通っている園や事業所などと情報交換、情報収集を行いお子様の支援に生かしている。	引き続き関係者連携を行い支援に生かしていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	必要なお子様に移行支援シートを作成し提供している。また必要に応じお子様の様子の見学に行っている。	引き続き移行支援シートや園への見学を行い、情報共有を行っていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	移行支援シートを活用している。また就学先決定まで保護者の相談に応じ関係機関と連携を行っている。	引き続き就学に向け支援を行っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	必要に応じ様子見学を行わせてもらっている。また研修会への積極的な参加を促している。	他の事業所との情報交換を積極的に行っていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	現在は機会がない。	地域の子どもたちとの交流の場の検討を行っていく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	参加している。	引き続き協議会への参加を行い支援に繋げていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎時に事業所の様子を伝えたり、ご自宅での様子を聞いたりしている。また連絡帳を活用している。	引き続き送迎時のやりとりや連絡帳の活用を行い情報共有を行っていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	事業所内でのペアレントトレーニングは行っていないが保護者の相談は随時受け付けており、その都度お子様の様子を	保護者の不安が少しでも軽減できるようにサポートを行っていく。

				伝えたり工夫点などアドバイスを行っている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に丁寧に説明を行っている。	引き続き丁寧な説明を心がける。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	支援計画書に関しては保護者から同意を得ている。	引き続き分かりやすいニーズに合った支援計画作成を心がける。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	送迎時にお話を聞いたり、必要に応じ面談や電話連絡で相談に応じている。	引き続き事業所での様子を伝えご自宅での様子の情報収集を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	今年度は保護者開の実施は検討していない。面談日を設ける予定。	保護者にとってオープンな場となるように工夫を行っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	必要に応じ面談日を設けている。また送迎時などにもお話の時間を設けたり連絡帳でも情報交換を行っている。	引き続き相談に迅速に対応できるよう努める。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	毎月きらきらだよりを作成し保護者に活動の様子をお伝えしている。	引き続ききらきらだよりを作成し事業所の様子をお伝えしていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○	日々の業務のなかで個人情報保護に努めている。	引き続き個人情報保護に努める。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	必要に応じ面談日を設けている。また送迎時などにもお話の時間を設けたり連絡帳でも情報交換を行っている。	引き続き情報共有を行っている。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	現在実施していない。	今後検討を行っている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	契約時に説明を行っている。また職員勉強会でマニュアルの確認を行っている。	引き続き、契約時の説明、職員同士でのマニュアルの確認を行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	職員勉強会でマニュアルの確認、定期的な設備点検を行っている。	今後消防署での研修など検討していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	事前にお子様の状態を情報収集し共有している。	引き続き必要な情報収集を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	食物アレルギーに関して事前の情報収集に努めている。	引き続き情報収集を行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	報告書作成をおこない、毎月の職員会議で情報共有を行っている。	引き続きヒヤリハットの報告書作成、情報共有を行い事故防止に努める。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	研修会参加や職員勉強会にて情報共有を行っている。	引き続き研修会参加を促し、職員勉強会を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	必要時には家族に説明を行い計画書に記載している。	説明を行い同意を得た上で実施する。